

2021 年度
マンスリーレポート No. 74

5月6日、医学科/看護学科/臨検校のオンライン授業について、全学年でライブ配信を実施できるように、柏木が教務課と設定や作業を行った。

5月8日、山田が第32回日本運動器科学会ランチョンセミナー「腰痛診療ガイドライン改訂にみる慢性腰痛治療：神経障害性疼痛の関与と薬物療法を中心に」で座長を務めた。

5月10日、緊急事態宣言/措置に伴う本学の対応について、在宅勤務や時差出勤の推進と職場の感染対策(間期/距離/消毒など)が通知された、教務委員会が開催され、全学年のオンライン授業が教室から学生にライブ配信されていることを柏木が説明した。

5月12日、教授会議が開催され、新入生オリエンテーションのアンケート結果があり、「大変よかった」のトップは柏木の「Moodle 説明会」(88%)であった。

5月14日、山田が「医師医学生のための文化人類学」(京都大学FCME研究会)にWebで参加した(FCME: Foundation Course for Medical Education)。

5月14日～16日、第101回日本消化器内視鏡学会総会が開催され(広島)、企業展示S-4で片山と岡部准教授(消化器内科)が技術指導した「軟性材料を用いた胆管モデルの開発」(カネカメディックス)が報告され、学会参加者の反響があった。

5月17日、山下教授(高度救命救急センター)が新型コロナ患者の災害時垂直避難場所にトレセン(総合診療棟8階)が適切かどうか検分に来られ、片山が対応した。

5月19日、CHIKUGO Pain Management Web Seminar (第一三共)で「神経障害性疼痛に対するアプローチ～ミロガバリンへの期待～」の座長を務めた。

5月20日、福岡県の緊急事態宣言の発令(5/12～5/31)と筑後地区の感染状況を考慮し、対面授業/臨床実習の再開が6月1日に延期となった。既卒者対策部会が開催され、安達が「3つの支援」を提案し、勉強会は予備校が休講の日時に遠隔配信で行うことになった。柏木が教職員を対象にした電子シラバス(Moodle)研修会(初心者コース)を行った。

5月24日、山田が学生生活支援部会(学生委員会下部組織)の司会/まとめ役を務めた。

5月25日、登校再開(6/1)の変更が通知され、講義は対面と遠隔(学年別に曜日指定)、実習は学年別に指定(系統解剖は対面、病理実習は遠隔、臨床実習は時短/科別)となった。医学教育分野別評価「年次報告書」の作成に向けて、石竹と安達が草案を協議した。

5月26日、安達が御井学舎の全学科共通授業「いのちの対話」(81人)を講義した。

5月28日、片山が看護部新人研修のライブ配信で機器設定と配信対応を行った。

5月29日、第141回西日本整形・災害外科学会特別講演「脊柱靭帯骨化症：厚生労働省班研究と診療ガイドラインの策定」で座長を務めた。

5月31日、JACME「年次報告書素案」が完成し(石竹/安達)、教務委員会/クリクラ部会/カリキュラム委員会/教育評価委員会/教務課/庶務課代表者にメールで送付して追加/修正/確認を求めた。片山が看護大学院の授業でシミュレータの使用実演と教示対応を行った。福岡県の緊急事態宣言延長(6/1～6/20)に伴い、本学の対応(5/10)も延長が通知された。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

5月6日、導尿実習OJT(病棟看護師)

5月6日、筋肉注射演習(病棟看護師)

5月6日、導尿実習OJT(病棟看護師)

5月7日、静脈血管確保、筋肉注射演習(病棟看護師)

5月11日、導尿実習OJT(病棟看護師)

- 5月12日、静脈採血、筋肉注射 演習（病棟看護師）
- 5月12日、ロボット支援下手術シミュレータトレーニング（外科医師）
- 5月14日、導尿実習 OJT（病棟看護師）
- 5月14日、筋肉注射演習（病棟看護師）
- 5月14日、導尿実習 OJT（病棟看護師）
- 5月28日、導尿実習 OJT（病棟看護師）
- 5月28日、新人看護師研修会：吸引演習（看護部）
- 5月28日、導尿実習 OJT（病棟看護師）
- 5月31日、看護大学院講義・演習（看護大学院）
- 5月13日～31日（水曜を除く）、VR内視鏡シミュレータトレーニング（外科医師）

文責：安達洋祐